

研究機関：広島大学

研究課題名	肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法の合併症に関する調査研究
研究責任者名	広島大学医歯薬保健学研究科消化器・代謝内科学 教授 茶山 一彰
研究期間	2018年3月1日(倫理委員会承認後)～ 2020年3月
対象者	2011年1月から2015年12月の間に、当院消化器代謝内科を受診し、肝細胞癌に対してラジオ波焼灼療法(RFA)治療が施行された患者さん および「RFAの合併症に関する多施設調査」に同意された患者さん
意義・目的	対象期間中に広島大学病院及び情報提供施設で肝癌に対してRFA治療が施行された患者さんについて、年別RFA件数、使用した装置別症例数、RFA穿刺時に使用した穿刺支援の利用頻度、装置別合併症ついて後ろ向きに収集を行い、RFAの施行時の状況と合併症の現状についての検討を行います。また、本研究では、中四国肝癌局所凝固療法研究会より、1999年から2010年の期間を対象に、中四国肝癌局所凝固療法研究会が実施した「RFAの合併症に関する多施設調査」の情報の提供を受けます。本研究で収集する情報と過去の情報と比較して、RFA時の状況と合併症の現状について検討します。
方法	本研究は、過去の通常診療時の診療録(カルテ)より以下の情報を収集して行います。 年別RFAの件数、使用装置別症例数、穿刺支援システム(造影エコー、RVS、3D-SIM、CTガイド下、その他)の使用頻度、また使用装置別RFA合併症(①出血、②肝への障害、③周囲臓器の損傷、④腫瘍進展、⑤対極板による熱傷、⑥そのほかの合併症)。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	広島大学病院、広島市立広島市民病院、高松赤十字病院、岡山市立市民病院、県立広島病院、岡山赤十字病院、島根大学医学部附属病院、徳島県立中央病院、松山赤十字病院、広島赤十字・原爆病院、倉敷中央病院、香川県立中央病院、徳島大学病院、岡山大学病院、鳥取県立厚生病院、愛媛県立中央病院、鳥取大学医学部附属病院、岡山済生会総合病院、中国中央病院、鳥取赤十字病院、中国労災病院、岡山大学病院、福山市民病院、香川大学医学部附属病院 山口大学に情報を集め、山口大学(研究責任者 山崎 隆弘)が解析します。
試料・情報の管理責任者	山口大学 教授 山崎隆弘
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5191

研究責任者：広島大学医歯薬保健学研究科消化器・代謝内科学 教授 茶山 一彰

研究担当者：広島大学医歯薬保健学研究科消化器・代謝内科学 大学院生 盛生 慶